

## <介護療養型医療施設>

### 利用者の主な意見・感想（ユーザー評価票自由記載欄より抜粋）

・リハビリで、出来るだけ外での散歩をさせてもらえるのはありがたいです。狭い病院内だけでは気分転換しづらいので。最近理学療法士さん達が減ってしまったとのことで、回数が減ってしまったことは残念です。早いうちにほぼ毎日リハビリが出来る様になることを願います。

・本人が起き上がるのが難しい状態ですが、できるだけ車イスに乗せて、体を動かしていただきたい。ほぼ1日中、寝ている状態です。リハビリが、もう少し多く受けられると有難いのですが。

・人手が足りないと思いますがおむつ交換に二人の体制で行なわれることを望みます。（1人では特に排便下痢等の時に大変と思います）入浴が週2日間あるのでありがたく思いますが片寄り（火・木）なので、せめて2、3日間隔と一考してもらえるとうれしく思います。若い人達の介護に感謝しています。

・いつもお世話いただきありがとうございます。たくさんの方の介護で大変だと思いますが、もう少し一人一人に合った介護をと思うことがあります。食事やオムツ交換の時などの流れ作業の様な感じをいつも悲しく感じております。お世話いただいている身なのでなかなか声にはできませんが、一日中ベットの上にいる者の気持ちを少しでも理解してもらいたいと思います。誰一人と好きで病気になったり、動けなくなった訳ではないのです。本人も家族も受け入れがたいことを何とか受け入れなければと努力しているのです。そういう気持ちを医療従事者、介護従事者の方々にもう一度と理解と自覚を持っていただきたいと思います。

・在宅ではできないサービス、リハビリをしていただいととても感謝しております。医療的な事もすぐに対応してくださり安心しております。

・病院での入院治療が終わったものの高齢の為、要介護が2から5へ。身体が衰えて自宅へ退院し戻れなくなり生きる希望を失っていました。その時運良く、初めて知った介護療養型施設に転院させてもらい生きる希望を取り戻しました。介護、看護計画にそってリハビリ等のサービスで自立の意思すら芽生えて来て

います。そんなサポートをしてくれる介護療養型施設は無くてはならない施設だと感謝しています。まだまだこんな施設があることすら知らず、苦勞し困っている人も多く、知っても入所できず羨ましく思っている人も多くいます。高齢化に伴いこんな施設がもっと多く必要だと感じます。

・介護療養型医療施設をもっと増やして欲しい。・長期療養ができるようにして欲しい。

・施設でのみなさまには、ケアマネを始めスタッフの皆様による、きめ細かい手厚い看護には、これまでお世話になってきた施設の中でも一番行き届いた施設ではないかと、たいへん満足致しております。あえて注文するなら、家族からのお願いや伝言等（食事の時は、一枚余分に羽織らせて下さい。とか、用意したふりかけを添えてやって下さい。E T C・・・）の申し送りをもう少しやって頂けるとうれしく思います。

・ミキサー食で一皿のものが全部一緒になっています。本人に、どんな味？とか、おいしい？とか聞いても「何かわからない」とのこと。無理だとわかっているのですが、少しでも副食の内容が感じられるとよいのですが。

・本施設のスタッフは共通してフレンドリーな態度で接してくれており、高齢者に対する尊敬の念を感じられる点でいつも感謝しております。皆さんが活々と働いている感じをいつも受けます。それは本施設の方針が一貫しておられるからではと思っています。一つだけ若干の不安があるとすれば、医療レベルに関してです。施設の性格上、限界があることは承知していますが、高度な医療は他の病院でということになり、一ヶ所で済めばより安心です。本施設に信頼感を持っているだけに、そう感じる次第です。

・寝たきりになって預かって頂ける病院があることは誠に有り難いと思います。80歳も過ぎると力がなく家で介護したら共倒れに成る所を救われています。存分とは言えないが預かって頂ける病院があることは感謝しています。

・私の夫は胃ろうの為、口から食事が出来ずまた手足も不自由なのでほとんどベッドに寝たきりの状態です。しかし時々気分転換や、また本人のリハビリの為にも車椅子に乗せて頂いて、少し散歩でもと思いますが介護士さん達何人もの手をわずらわす事を考えると、遠慮があります。ベッドばかりでなく、車椅子にも乗せてあげて欲しいです。

・胃ろうです。食事の時水分補給など時間が来て機械的に与えるのではなく”お昼ですよ””ご飯ですよ””お茶の時間ですよ”など声かけをいっぱいいっぱいしてほしい。全く言葉を発しないが声は聞こえていると思うから。いつもきれいにしてくださいありがとうございます。ありがとう。

・定期的に主治医もしくは病院職員からの本人の健康状態、治療内容、薬の内容等の現況を家族に伝えてほしい。

・要介護状態になった時、医療的ケアを含め長期間安心していられる施設が少なすぎると思います。療養病床の有る病院がなくなり病院を転々としている要介護者や家族の負担は大きく、安心して老後が過ごせる環境を整えてもらいたいです。

・食事は全介助で食べさせてもらっているが、全粥ときざみ食を短い時間で口の中に流し込まれているような感じの食べ方になっている。もう少しゆっくりと食べさせてもらえるとよいと思う。

・介護療養型医療施設が少なすぎる。病院を転々することは家族にとって大変なことであり患者にも負担がかかる。労働人口が少なくなる現在、定年延長になり患者を見る時間がとれなくなって来ると思う。安心して施設に預けることができる様なシステムになることを望む（金銭も含む）患者を持つ家族が犠牲にならない国民が全体で負担するシステムを築いてほしい。

・気軽に職員の方が話をしてくださるのが介護をしている方としては、とても、助かりました。父は大変（短い間）お世話になりました。仕事をしている方々は毎日同じ流れで大変な仕事をしていると思いますが家族にとっては大事な人を預けています。ただただ、職員の方々の笑顔がとってもうれしかったです。やはり、サービス業と介護いえ全ての人間関係において笑顔は何よりだと思いました。

・家で2年程見ていましたが、私の体力の方が大変になってきました。経管食になって3年位が過ぎましたが、今は、病院も近いしとても、喜んでおります。この制度がいつまでも続いてくれる事をお願いします。